

【理事会報告】

2024 年 5 月 25 日
アスリート委員会
委員長 堀水宏次郎

アスリート委員会活動状況について

1 強化指定選手選考記録会等における実施方法の提案について

NTC で行う競技会の在り方について、アスリート委員会から選手強化本部及び関係委員会に対して提案を行った。 【添付資料あり 2024.5.17 付け】

以上

2024 年 5 月 17 日

選手強化本部 御中

選手強化委員会 御中

競技運営委員会 御中

アスリート委員会委員長

強化指定選手選考記録会等における実施方法の提案について

みだしの件については、NTC で行う競技会の在り方について、アスリート委員会から下記のとおり提案するので可能な限り実現に向けて配慮をお願いしたい。

記

1 開催場所

- (1) NTC は最大限活用すべきである。
- (2) 強化指定選手選考記録会（選考会等を含む）以外の一般大会は、一般の射撃場で行うことが好ましい。
 - ・ライフルスポーツを社会に発信していくため
 - ・25m ピistol 種目、バリアフリー、映像配信等、設備関係上 NTC を利用することが必要である場合を除く。

2 パフォーマンス向上と無理のない運営を念頭に置く

- (1) 多くの種目を同時に行わない。
 - 【例】50m ライフルと 10m ライフル
 - 25m ピistol と 10m ピistol
- (2) シニアとジュニアを同じ日程で行わない。
射群を極力少なくして、余裕のある運営を行う。
- (3) NTC 入館を競技開始の 2 時間前までには可とする。
- (4) 概ね午後 5 時までには、その日の日程を終える。
過去の開催では午後 7 時を超えるものがあったが、ハイパフォーマンスを期待する記録会とするためには、夜間帯に及ぶ開催は好ましくない。
- (5) 選手の準備に係る十分な時間とスペースを確保する。

3 適正円滑な運営

(1) PET の在り方

PET の実施は単に選手の練習だけでなく、競技会の円滑な運営に資するための側面があることを当該競技会に関わる者の共通認識とする。

※施設や機器の動作状況の確認、射場スタッフの役割の確認、選手の準備等

(2) PET の国内ルール改正

「PET の進行方法は、事前に役員及び選手等に周知され、混乱を招かないように努めなければならない」旨の内容に改正する。

(3) 射群・射座

射群・射座の決め方は、選手の恣意的な都合が反映されるべきではなく、あくまで大会運営側の公平な判断に委ねられるのが基本原則である。

しかしながら、過誤等により不都合が生じる場合もあり得ることから、そのときは、誠実な対応に努めるべきである。

(4) 用具検査機器の校正とそれが行われていることの明示

※選手、担当スタッフともに納得できる判定に繋がる。

(5) 競技会の運営を評価できるシステムの構築

競技会実施後に選手、役員、スタッフなどを対象とした、当該競技会を評価するモニター調査を実施する。

評価内容は、選手強化委員会、競技運営委員会、アスリート委員会で共有し、以降の参考とする。

※ゲーグルフォーム等で実施可能

以上